

はじめに

町民の皆様には、日ごろから町政に対しまして深いご理解とご協力をいただき、お礼を申し上げます。また、住みよいまちづくりに向けた主体的な諸活動に対しましてあわせて敬意を表します。

さて、私たちの郷土は、明治30年に開拓の鍬が下ろされて以来、今日に至るまで、まちを愛する多くの先人の英知とたゆまぬ努力により、この上富良野を築き上げていただきました。先人への感謝の気持ちを忘れることなく「未来につながる希望のもてるまちづくり」に向け、皆様とともに努力を重ねてまいりたいと考えています。

平成21年度は、まちづくりを進めていくための基本ルールとなる「上富良野町自治基本条例」の施行とともに、今後10年間のまちづくりの指針となる「第5次上富良野町総合計画」がスタートします。「四季彩のまち・かみふらの~風土に映える暮らしのデザイン」という将来像のもと、次の5つの暮らしづくりを柱に掲げ、まちづくりに取り組んでまいります。

- 1、人や地域とつながりのある暮らし
- 2、穏やかに安心して過ごせる暮らし
- 3、快適で楽しく潤いのある暮らし
- 4、地域の宝を守り・育み・活用できる暮らし
- 5、誇りと責任・役割を分かちあえる暮らし

町では、この5つの柱に基づき様々な事業を行ってまいりますが、 一般的な予算書ではわかりにくい部分もあるため、町民の皆様に町の 事業についてよりわかりやすく説明し、関心を持っていただけるよう 「わかりやすい予算説明書」を作成することとなりました。

本書では行政用語や財政用語を極力使用せず、町が行っている事業の内容をできるだけ分かりやすく、皆様にお伝えできるよう心がけて 作成しております。

平成21年度に町が取り組む事業をご理解いただくとともに、町民の皆様との相互理解を一層深め、よりよいまちづくりを進めるためにご利用いただければ幸いです。

最後に本年度も町政へのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し 上げます。

平成21年4月

contents 目次

平成21年度 まちの予算

この冊子の見方

1



人や地域とつながりのある暮らし

健やかに生きる権利の行使とその責 が果たせる社会づくり	任
民生・児童委員協議会補助	1
社会福祉協議会補助	1
敬老祝い金	1
多世代交流センターの運営	1
人・モノ・地域を結ぶ社会基盤の充	実
バスの運行(スクール・路線)	2

町民主体で成り立つコミュニティづくり

広報かみふらの発行	2
英語指導助手(AET)の招致	2
自治会活動の推進	2
青少年国内外交流	2



安心の暮らしを支える

穏やかに安心して過ごせる暮らし

福祉医療環境づくり	
福祉医療環境づくり 国民健康保険特別会計への繰出 後期高齢者医療特別会計への繰出 老人保健特別会計への繰出 病院事業会計負担 介護保険特別会計への繰出 救急医療の確保 医療費給付 老人福祉施設措置 障害者自立支援 在宅福祉の推進	3 3 3 3 3 3 4 4 4
腎機能障害者等通院交通費補助 重度身体障害者タクシー料金助成	4 4
『ひよこ学級』の運営	4 4 4
子どもセンター共生事業 のびのび子育てを支える 成長環境づくり	4
子育て支援センター事業 母子・乳幼児健診 保育所の運営	5 5 5
本気・やる気が実を結ぶ産業づくり	
森林整備事業 畜産担い手育成総合整備事業 生産振興事業補助 農業関係資金の利子補給 農業関係資金貸付 しろがね土地改良区負担 しろがね地区基幹水利施設管理費 農業用施設設置助成事業 農道整備補助 農産加工実習施設の運営 東中興農地区経営体育成基盤整備 島津地区経営体育成基盤整備	6 6 6 6 6 7 7 7

草分地区農地防災機能増進事業 農地・水・環境保全向上対策 有害鳥獣対策 【広域】「串内牧場」の運営 家畜伝染病の予防 かみふらの十勝岳観光協会補助 商工振興事業補助 中小企業の振興 企業振興補助	7 7 8 8 8 8 8 8
身近な生活の安全を支える	0
社会基盤の充実と環境保全 上・下水道の供給に必要な経費 合併浄化槽の整備 ごみ・環境対策 【広域】し尿等処理施設の運営 町道の除持管理 人道跨線橋改築 東町4丁目3番通り改良舗装 道路管理車輌の更新 道路側溝等整備 東5線道路の改良 北19号道路改良舗装	9 10 10 10 10 11 11 11 12 12
生活の不安を取り除く地域社会づく	IJ
洪水ハザードマップの策定 防災アドバイザー事業 くらしの安全対策 住宅耐震化補助 【広域】消防費 東 1 線排水路整備 北 2 4 号排水路支線整備 ヌッカクシ富良野川支流整備 南部地区土砂流出対策	13 13 13 13 13 14 14 14

快適で楽しく潤いのある暮らし 意欲と活力ある暮らしを導く 大型東屋の整備 (ゲートボール場) 16 心づくり・身体づくり パークゴルフ場管理費 16 予防費(健康診査、検診など) 運動公園の管理 15 17 生涯に潤いをもたらす学習環境づくり 憩いと安らぎを提供する快適空間づくり 文化の振興 日の出公園の管理 15 17 公民館、分館の運営 15 島津公園の整備 17 スポーツの振興 16 楽しく便利な地域生活の実現 社会教育総合センター管理費 16 図書館「ふれんど」運営費 電算化の推進 16 17 B&G海洋センター管理費 住基ネットワークシステムの改修 16 17 地域の宝を守り・育み・活用できる暮らし いきがいある生活と 私立幼稚園就園奨励 20 社会参加を支える福祉環境づくり 私立幼稚園特別活動振興補助 20 高齢者事業団運営補助 【広域】学校給食センターの運営 18 20 いしずえ大学の運営 18 学習指導要領改正に伴う教材 20 老人クラブ運営補助 18 担い手が輝き、地域の強みを 精神障害者通所授産施設整備 18 生かす産業づくり たくましく、心豊かな 農業担い手対策 21 人間を育む成長・学習環境づくり 商工業担い手対策 21 放課後子どもプラン 18 広域観光の推進 21 児童館の運営 観光諸行事負担 19 21 風土に調和した社会基盤・ 上富良野高等学校振興対策 19 活動基盤づくり 小中学校の管理運営 19 特別支援教育 19 吹上温泉地区の振興 21 小中学校の学習活動 町営住宅管理 19 22 小中学校の整備・補修 町営住宅建設 22 19 まちの記憶が受け継がれ、 教育用コンピュータ整備 19 東中中学校(講堂)暖房機更新 新たな知恵が芽吹くまちづくり 20 小中学校耐震診断 20 郷土館の管理 22 児童・生徒就学助成 開拓記念館の管理 20 22 誇りと責任・役割を分かちあえる暮らし 健やかに生きる権利の行使と 創意と工夫で実現する その責任が果たせる社会づくり 自立した地域社会づくり かみん(保健福祉総合センター)の運営 23 自衛隊基地対策 23 ボランティアの町づくり 協働のまちづくりの推進 23 23 その他行政運営に係る経費 富良野広域連合(総務費用) 補償金免除繰上償還 24 24 議会運営費 緊急雇用創出対策 24 24 資料編

25

26

予算の推移

まちの貯金(基金)

27

28

まちの借金(町債)

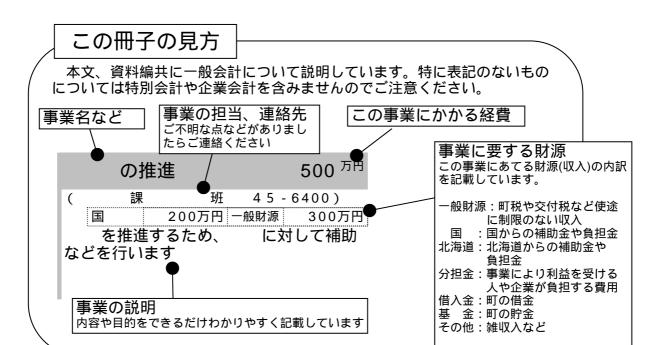
まちの財政指標

平成21年度 まちの予算

平成21年度の上富良野町各会計の予算は、次のとおりです。

	会計名称	平成21年度 当初予算額	平成20年度 当初予算額	増 減
	一般会計	66億1,100万円	71億5,200万円	5億4,100万円 (7.6%)
	国民健康保険特別会計	13億4,848万円	13億9,355万円	4,508万円 (3.2%)
	老人保健特別会計	1,211万円	1億1,332万円	1億121万円 (89.3%)
 特	後期高齢者医療 特別会計	9,084万円	9,503万円	419万円 (4.4%)
特別会計	介護保険特別会計	7億5,227万円	6億6,926万円	8,301万円 (12.4%)
計 	ラベンダーハイツ事業 特別会計	2億8,550万円	2億7,880万円	670万円 (2.4%)
	簡易水道事業特別会計	5,264万円	1億186万円	4,922万円 (48.3%)
	公共下水道特別会計	7億8,402万円	6億4,285万円	1億4,116万円 (22.0%)
公会営	病院事業会計	8億9,558万円	8億5,574万円	3,984万円 (4.7%)
計企業	水道事業会計	4億2,311万円	4億6,827万円	4,516万円 (9.6%)
	合 計	112億5,554万円	117億7,069万円	5億1,515万円 (4.4%)

表内の各数値は、表示単位未満を四捨五入しています。



人や地域とつながりのある暮らし

つながりのある生活は心強さをもたらします。つながりのある産業活動は広がりをもたらします。つながりのある町民活動は豊かさをもたらします。 それぞれが足りないものを補い合い、支え合い、良いところを伸ばし合いながら、より豊かな生活を送るために、人と人・人と地域・地域と地域など、さまざ

ら、より豊かな生活を送るために、人と人・人と地域・地域と地域など、さまざまな場面でつながりが発揮される暮らしの実現をめざします。

<u>地域ぐるみで支え合う健康・福祉コミュニティの実現</u>

民生・児童委員協議会補助 420 ^{万円}

(保健福祉課 福祉対策班 45-6987) 北海道 207万円 一般財源 213万円

厚生労働大臣・知事の委嘱を受けた民生・児童委員が、それぞれの地区で心配ごとの相談や支援活動を行っています町では32名の委員の報酬や活動費に対して補助を行います

社会福祉協議会補助 2

2,188 万円

(保健福祉課 福祉対策班

45-6987) 一般財源 2,188万円

町社会福祉協議会の人件費などの運営費 や、ふれあい広場事業など地域福祉の推 進活動経費などに対して補助を行います

敬老祝い金 358 ^{万円}

(保健福祉課 福祉対策班 45-6987)

一般財源 358万円

喜寿(77歳)・米寿(88歳)・白寿(99歳) を迎えた高齢者に敬意を表し、祝い金(商 品券)をお渡しします

喜寿 (2万円)	115人
	1107
业主 /2 下田)	36人
米寿 (3万円)	30人
	1 L
白寿 (5万円)	4人
H21年2月末現	左
1141十4月不坑	1上

多世代交流センターの運営 295 万円

(教育振興課 社会教育班 45-5511)

|使用料 | 5万円 | 一般財源 | 290万円

平成18年3月で廃止された旧清富小学校、旧東中保育所を利用して、各種行事やレクレーションなど、広く交流の場として活用されています



人や地域とつながりのある暮らし

人・モノ・地域を結ぶ社会基盤の充実

バスの運行(スクールバス・路線バス)

3,123 万円

(総務課 車両班

45-6994、教育振興課 学校教育班

45-6699)

北海道

132万円 バス料金

294万円 一般財源

2,697万円

小中学校の遠距離通学児童生徒の安全な通学のた め、スクールバスを運行しています

また、スクールバスの運行と同時に、日常生活の 交通を確保するため、十勝岳線、江花島津線、東 中線、清富線、里仁線の5路線で児童生徒と地域 住民の混乗方式で路線バスを運行しています



町民主体で成り立つコミュニティづくり

広報かみふらの発行

452 万円

(町民生活課 自治推進班 45-6985)

広告収入 11万円 一般財源 441万円

わかりやすく親しみやすい広報を発行 し、町民の皆様が行政情報を素早く正確 に共有できる体制をつくります

492 万円 英語指導助手(AET)の招致

(教育振興課 学校教育班

45-6699)

一般財源 492万円 小中学生や未就学児をはじめ、町民が外 国語とふれあい、学ぶ機会を設けるた め、カナダから英語指導助手(AET)を

招いて、積極的な文化語学交流を行いま

す



自治会活動の推進

912 万円

(町民生活課 自治推進班

45-6985)

一般財源 912万円

協働のまちづくりと自主的な自治活動を 支援・推進するため、使途を限定しない 住民会交付金の交付や、自主的な活動支 援への補助を行います

住民会交付金 自治活動奨励補助 812万円 100万円

など

青少年国内外交流

221 万円

(教育振興課 社会教育班

45-5511)

197万円 一般財源

かみふらのの将来を担う青少年を対象 に、友好都市であるカナダ・カムローズ 市との国際交流、姉妹都市である三重県 津市との国内交流を通じて、国際性豊か な人材の育成や開拓の歴史を学ぶ交流を 進めます

平成21年度は三重県津市に40名の訪問 団を派遣します

事業の実施には「国内外交流推進基金」を 活用します



元気に生まれ(生まれてほしい)、健やかに成長し(成長してほしい)、 豊かな生活を送りたい(送ってほしい)、これはみんなの願いです。 生きていくうえでの不安を一つひとつ解決しながら、穏やかで安心に包まれた 生涯を送ることができる暮らしの実現をめざします。

安心の暮らしを支える福祉医療環境づくり

国民健康保険

1億1,151 万円

特別会計への繰出 (町民生活課 総合窓口班

45-6985)

431万円 一般財源 7,531万円

北海道

3,189万円 出産育児一時金、人件費、保険基盤の安

後期高齢者医療

特別会計への繰出等

定に対して一般会計から負担します

1億3,711

(町民生活課 総合窓口班

45-6985)

一般財源

1億3,711万円

後期高齢者医療制度の運用に必要な経費 のうち、医療給付費や事務費の一部を-般会計から負担します

・療養給付費

1億593万円

・その他事務費等

3,118万円

老人保健

特別会計への繰出

106 万円

(町民生活課 総合窓口班

45-6985)

一般財源 106万円

事務費や請求遅延分の医療費について一 般会計から負担します

病院事業会計負担

2億1,514 万円

(町立病院

45-3171)

一般財源 2億1,514万円

地域医療の確保と安定的な病院経営のた め、一般会計から経費の一部を負担しま す

介護保険特別会計

への繰出

1億3,920 万円

(保健福祉課 介護保険班

45-6987)

一般財源

1億3,920万円

介護保険法に基づき、制度の運用に必要 な経費のうち、介護給付費や事務費の一 部を一般会計から負担します

救急医療の確保

398 万円

(保健福祉課 健康推進班

45-6987)

一般財源 398万円

上富良野町の救急医療は町立病院が担っ ていますが、町立病院では対応できない 重篤な疾患の救急医療体制については、 必要な経費を負担し、その確保に努めて います



医療費給付

6,705 万円

(町民生活課 45-6985) 総合窓口班 北海道 2,837万円 -般財源 3,138万円 その他 730万円

乳幼児・ひとり親家庭等・重度心身障害 者の健康の保持と福祉の増進を図るた め、医療費の一部を助成します

重度心身障害者医療 3,111万円 重度の心身障害者に対して医療費の一部 を助成します

ひとり親家庭等医療 624万円 ひとり親家庭等に対して医療費の一部を 助成します

乳幼児医療

2.970万円

小学校就学前の乳幼児の通院・入院、及び 小学生の入院に対して、医療費の一部を 助成します



老人福祉施設措置

360 万円

(保健福祉課 福祉対策班 45-6987)

□ 入所者費用 | 45万円 | 一般財源 | 315万円 環境的な問題、健康上・経済的な理由などで居宅において養護を受けることが困難な高齢者を養護老人ホームに入所させることにより、心身の健康の保持と生活の安定を図ります

障害者自立支援

1億6,230 万円

(保健福祉課 福祉対策班 45-6987)

国	7,587万円	分担金	38万円
北海道	3,794万円	一般財源	4,811万円

障害者自立支援法に基づき、障害のある 方が自立した生活を営むため総合的な支 援を行います

介護給付1億4,000万円補装具・日常生活用具553万円自立支援医療555万円地域生活支援803万円審査会設置負担134万円

施設通所交通費 118万円 など

発達支援センター 『ひよこ学級』の運営

4,442 万円

(保健福祉課 子育て支援班 45-6987)北海道 158万円 その他 1,508万円中富良野町 550万円 一般財源 2,226万円

発達支援センター『ひよこ学級』では、 子どもの発達に関する相談や、親子のふれあいを通じた発達支援、発達に応じた 個別指導など、子どもの力が大きく伸び る大切な時期を支援します

(中富良野町と共同で事業を実施しています)

H21より、障がいのある児童の一時預かりを開始し、ご家族の休息や就労をサポートします



在宅福祉の推進

1,188 万円

(保健福祉課 介護保険班 45-6987)

利用者負担 539万円 一般財源 492万円

在宅の寝たきり高齢者や在宅障害者、その家族の生活を支援するため、さまざまな保健福祉サービスを提供します

夕食の配送 360万円 通院時などの移送 250万円 理容師の訪問 28万円 除雪サービス 170万円 271万円 緊急通報システムの設置 電話による健康確認・相談 10万円 おむつ購入費助成 56万円 40万円 介護保険在宅サービス利用補助 など

H21より配食サービスの利用負担金を700円 450円に見直しました

腎機能障害者 特定疾患者

250 万円

通院交通費補助

(保健福祉課 福祉対策班 45-6987)

一般財源 250万円

人工透析による治療や特定疾患治療のため町外の病院へ通院する方へ交通費の補助を行います

重度身体障害者

132 万円

タクシー料金助成

45-6987)

(保健福祉課 福祉対策班

一般財源 132万円

重度の障害者に対し、初乗り運賃相当の タクシー乗車券を給付します(24枚/ 年)

子どもセンター共生事業 300 ^{万円}

(保健福祉課 子育て支援班 45-6987)

国 300万円 一般財源

障害者、高齢者、子どもが集い、遊びを 通したふれあい(共生事業)により、交 流を進めます

今年度は事業開始に伴う備品整備費など を含みます



のびのび子育てを支える成長環境づくり

子育て支援センター事業 1.863 万円

(保健福祉課 子育て支援班 45-6987) 北海道 499万円 その他 58万円 一般財源 1.306万円

子育て支援センター『にこにこ』では、 就学前の親子を対象に保育士が育児相談 やあそびの場の提供など、さまざまな子 育て支援を行います

また、子どもセンターや保育所を開放し、楽しい行事を通じて親子のふれあい を深めます

母子・乳幼児健診 944 万円

(保健福祉課 健康推進班 45-6987)

玉	29万円	基金	300万円
北海道	226万円	一般財源	389万円

安心·安全な妊娠及び乳幼児の健やかな発育発達を推進します

- ・妊婦健康診査(14回)助成
- ・低所得者への超音波検査助成
- ・助産師による妊娠期の学習推進
- ・生後4か月までの全戸訪問事業
- ・乳幼児の健康診査

保育所の運営 1億9,963 ^{万円}

共働き世帯やひとり親世帯などの0~5歳の乳幼児を保育し、遊びを通して 言葉や生活などさまざまな面での成長を支えます

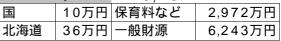
町立中央保育所 (保健福祉課 保育所 45-2074) 9,261 ^{万円}

入所定員 90人 保育所の運営経費

人件費など 7,629万円 教材など消耗品 115万円 給食材料費 635万円

保育所施設の管理経費

光熱水費や用務員業務の委託など 685万円 (H21)配管補修など施設整備 197万円





私立保育所の運営 (保健福祉課 子育て支援班 45-6987)

町内2か所の私立保育園(わかば愛育園、西保育園)の運営費の一部を、法律に基づいて国、北海道、町が負担します

わかば愛育園 西保育園

入所定員60人45人運営費5,108万円4,661万円障害児保育311万円155万円一時・特定保育73万円72万円延長保育75万円55万円

1億510 万円

国	3,261万円
北海道	1,665万円
保育料	3,003万円
一般財源	2,581万円

保育所の広域入所 (保健福祉課 子育て支援班 45-6987)

生活や仕事の都合によりやむを得ない場合は、住んでいる市町村以外の保育所が利用可能です(広域入所) 上富良野町に住んでいる幼児が他市町村の保育所を利用する場合は、他市町村に委託料を支払います

国	78万円
北海道	39万円
保育料	34万円
一般財源	42万円

193 万円



本気・やる気が実を結ぶ産業づくり

森林整備事業

823 万円

 (産業振興課 農業振興班 45-6984)

 北海道 433万円 一般財源 390万円

森林は国土や自然環境の保全、地球温暖 化の防止、林産物の供給など多くの役割 を担っています

町では町有林の適切な管理を行うと共 に、民有林の造林、除間伐など森林の管 理育成に対して補助を行い、森林の整備 を推進します

畜産担い手育成 総合整備事業

4億1,466 万円

(産業振興課 農業振興班 45-6984)

 北海道
 204万円 一般財源
 48万円

 分担金
 4億1,214万円

平成18年度から進めている畜産飼料生産基盤や施設の整備事業で、草地や畜舎、サイロなどの整備を進めています平成21年度は最終年度となり、37haの草地造成整備、豚舎8棟、バンカーサイロ1基などの整備を行います

しろがね土地改良区負担 1億4,170 万円

(産業振興課 農業振興班 45-6984)

基金 2,000万円 償還金 662万円 一般財源 1億1,508万円

平成15年度に完成した、しろがね地区の 国営土地改良事業の負担金です

負担期間は平成15~29年度で、20年度 までに7.1億円、21~29年度で11.8億 円を負担します

償還金 1億3,335万円 円滑化資金 662万円 かんがい用水利用補助 165万円

など

生産振興事業補助

500 万円

(産業振興課 農業振興班

45-6984)

一般財源 500万円

農業経営基盤の確立を目指し、高収益作物への転換に必要な設備や小規模な土地改良、除礫(れき)に要する経費の助成を行います

農業関係資金の利子補給 1,101 ^{万円}

(産業振興課 農業振興班 45-6984) 北海道 569万円 一般財源 532万円

認定農業者が計画的な経営改善を実施するために必要な資金について、その利子の一部を北海道と町が助成し、安定した経営への転換を支援します

農業関係資金貸付

2,652 万円

(産業振興課 農業振興班 45-6984) 返還金 2,652万円 一般財源 -

営農改善資金・・・生産振興事業や火山灰客土、かん水施設などを対象にゼロ金利の資金を融資し、支援します

農業振興資金・・・農業施設の増改築、機械施設の導入、基盤整備などに対して低金利の資金を融資し、支援します

しろがね地区

303 万円

基幹水利施設管理費(産業振興課 農業振興班 4

45-6984)

| その他 | 57万円 | 一般財源 | 245万円

しろがねダム、しろがね頭首工、流域変 更導水路、しろがね導水路の基幹4施設 の維持管理について美瑛町に委託し、経 費を負担します



農業用施設設置助成事業 8,323 万円

 (産業振興課 農業振興班 45-6984)

 国 8,312万円 一般財源 11万円

防衛省の補助を受け、JAふらのが農業 用機械を導入する事業で、事業費の2/3 の補助を町が受け、町からJAふらのへ助 成を行います

今年度はトラクター6台、耕起作業機6 セットを導入します



東中興農地区 経営体育成基盤整備 345 万円

(産業振興課 農業振興班 45-6984)

| 北海道 | 91万円 | 一般財源 | 55万円 | 借入金 | 200万円 |

北海道が実施する暗渠・ほ場・用水路・排水路整備等の土地改良事業について、事業費の一部を町が負担します

平成21年度から25年度までの5ヵ年計画で、本年度は実施設計を行います

草分地区 農地防災機能増進事業 893 万円

(産業振興課 農業振興班 45-6984)

一般財源 893万円

表土の流失や町道・農家への土砂流出を防ぐため、平成20~23年度の4ヵ年計画で防災機能の増進事業を実施しています

平成21年度は排水路130メートルの整備を国50%、北海道25%、町25%の負担割合で実施、事業主体である北海道に対して経費を負担します

農道整備補助

170 万円

(産業振興課 農業振興班

45-6984)

一般財源 170万円

農業者が所有・使用している農道の整備費 用の一部を補助します

農産加工実習施設の運営 141 ^{万円}

(産業振興課 農業振興班 45-6984)

一般財源 141万円

地場農畜産物の加工実習の場として、主 にパン・豆腐・こうじ・味噌・ベーコン づくりなどに利用されています

(H20利用実績:1,220名)

島津地区 2,929 ^{万円} 経営体育成基盤整備 2,929 ^{万円}

(産業振興課 農業振興班 45-6984)

北海道 1,270万円 一般財源 176万円 借入金 1,480万円

北海道が実施する暗渠・ほ場・用水路・排水路整備等の土地改良事業について、事業費の一部を町が負担します

平成17年度から継続してきた事業が本年度で完了します。最終年度である平成21年度は区画整理(8.8ha)、用水整備(2,417m)、排水整備(355m)を実施します

農地·水·環境 保全向上対策 1,353 ^{万円}

(産業振興課 農業振興班 45-6984)

 北海道
 70万円 一般財源
 983万円

 基金
 300万円

水路補修・草刈り・土砂上げなど、農業農村環境向上にむけた地域の取り組みに対して、国・北海道・町が支援します平成21年度は、農地約1千8百ヘクタール、総事業費約5,100万円に対して、25%の1.283万円を町が負担します



有害鳥獣対策

84 万円

(産業振興課 農業振興班

45-6984)

一般財源

84万円

有害鳥獣の駆除活動に対する補助や、駆 除従事者確保のために狩猟免許取得に対 して補助を行います

家畜伝染病の予防

246 万円

(産業振興課 農業振興班

45-6984)

一般財源 246万円

牛や豚などの家畜伝染病予防のため、町の家畜自衛防疫組合や富良野地区農業共済組合へ補助を行い、関係機関と連携しながら予防事業に取り組みます

【広域連合事業】

「串内牧場」の運営

1.324 万円

(産業振興課 農業振興班

45-6984)

一般財源 1,324万円

富良野広域連合が南富良野町で運営する公共牧場「串内牧場」で、肉牛・乳牛の預かり放牧や粗飼料の供給などを行い、 牧場経営の安定を促進します

かみふらの十勝岳観光協会補助 1.519 万円

(産業振興課 商工観光班

45-6983)

一般財源 1,519万円

観光協会が行う観光宣伝事業、案内所の設置、人件費などに対して補助を行います経常的な経費の他、今年度はラベンダー蒸留釜設備(233万円)や、外国人観光客の誘致事業(83万円)を実施します

商工振興事業補助

1,712 万円

(産業振興課 商工観光班

45-6983)

一般財源 1,712万円

商工業者の経営基盤の向上と安定化を進めるため、商工会に対して人件費や経営 改善事業、地域振興事業、空き店舗活用 事業などに補助を行います



中小企業の振興

9,139 万円

(産業振興課 商工観光班

45-6983)

返還金 8.915万円 一般財源

般財源 224万円

町では、中小企業の安定的な経営を促進するため、短期的な資金の貸付けや利子 助成を行います

資金の貸付け

8,915万円

利子補給

204万円

信用保証料補てん

20万円

企業振興補助

355 万円

(産業振興課 商工観光班

45-6983)

一般財源 355万円

企業の立地を促進するため、町内に工場などを新増設した企業に対し、雇用助成、固定資産税負担の助成、借入金の利子助成などを行います

雇用助成

165万円

固定資産税助成

102万円

利子助成

88万円



身近な生活の安全を支える社会基盤の充実と環境保全

上・下水道の供給に必要な経費

2億2,013 万円

(建設水道課 上下水道班 45-6982)

水道水の供給は近年の節水意識の高まりや少子高齢化などから、使用水量は微減傾向が続くと見込まれますが、今後もより一層安全で良質な水道水を安定的に供給するため、施設の更新など適切な維持管理に努めます

上水道事業 (420万円)

一般財源 420万円

水道事業会計に対して、借入金の償還費などの一部を一般会計から負担します

簡易水道事業 (3,668万円)

一般財源 3,668万円

簡易水道事業会計に対して、借入金の償還費などの一部を一般会計から負担します

飲料水供給施設の維持管理 (442万円) 「使用料 66万円 一般財源 376万円

旭野地区、清富地区、翁地区などに安全で良質な飲料水を供給するため、給水設備の維持管理や水質の維持に努めます

・水質検査 312万円 ・施設維持管理 130万円

道路工事に伴う配水管移設工事 (893万円)

道々美沢上富良野線の改良工事に伴い、清富地区飲料水供給施設の配水管の移設工事を行います

【財源】工事による補償費678万円、借入200万円、一般財源15万円

下水道事業 (1億1,525万円) 一般財源 1億1,525万円

良質な地球環境を後世代に残すため、公共下水道の整備により公共水域の水質保全に努めています。今後多くの設備が耐用年数を迎えることから、施設の延命に努めると共に、後年度利用者との負担の均等化や計画的な債務の解消など、経営の安定化を図ります

一般会計からは下水道事業会計に対して借入金の償還費などの一部について負担します

借入金の繰上償還に必要な経費 (5,064万円)

| 国などから借入れを行った高金利の借金について、特例として繰上償 |還することが可能となりました。平成21年度は約4億1,600万円を |繰上償還し、このうち約5千万円を一般会計が負担します。

この繰上償還により1億円を超える利子負担の軽減が期待できます

合併浄化槽の整備

1,998 万円

235万円

(町民生活課 生活環境班 45-6985)

公共下水道の処理区域とならない地域の住民が合併 浄化槽を設置するときは、設置費用の一部に対して助 成を行います

本年度は5人槽20基分の助成を予定しています



玉



ごみ・環境対策 1_億7,891 ^{万円}

(町民生活課 生活環境班 45-6985)

ごみ処理施設(クリーンセンター)では、家庭から排出されるごみのうち、可燃ごみと 不燃ごみ、粗大ごみや空き瓶、空き缶、ペットボトル等を収集し、焼却処理や再資源化 処理、埋め立て処理を行います

ごみの減量化、資源化を進めるためにも、適正なごみの分別をお願いします

・クリーンセンター管理経費 1億1,826万円

・ごみ収集経費 4,521万円

・ごみ袋経費 618万円・温暖化対策計画 926万円



地球温暖化対策地域推進計画の策定 市町村が実施する事業に関して、温室効 果ガス排出量の削減などについて定める 計画の策定が法律で義務付けられまし た。これに伴い、上富良野町でもこれら の計画を策定し、地球温暖化対策に積極 的な取り組みを進めます

事業費926万円のうち800万円がエネル ギー技術の開発機関より助成されます



町道の除雪・排雪

5,209 万円

(建設水道課 建設班

45-6981)

一般財源 5,209万円

冬期間の安全な交通を確保するため、町 道の除雪、排雪を行います

除雪作業はおおむね12cmの降雪を基準に出動し、通学・通勤路などの幹線から順に作業を行いますのでご理解とご協力をお願いします





手数料	3,498万円
他市町村負担	3,369万円
温暖化対策補助	800万円
資源売払い	244万円
ごみ袋広告料	10万円
一般財源	9,970万円

【 広域連合事業 】 し尿等処理施設の運営

8.434 万円

(町民生活課 生活環境班

45-6985)

一般財源 8,434万円

家庭から排出される生ごみやし尿、浄化槽の汚泥は、富良野市の富良野地区環境衛生センターに運び処理を行っていますセンターの運営は富良野広域連合が行い、富良野生活圏のし尿・浄化槽汚泥の適正処理と併せて生ごみを堆肥化処理する資源循環型施設の共同処理を行っています

・衛生センター管理費 3,588万円

・ 衛生センター施設建設 4.846万円

町道の維持管理

5,250 万円

(建設水道課 建設班 45-6981)

使用料等 526万円 一般財源 4,724万円

安全な道路網を維持するための管理・点 検・補修工事などを行います

補修工事 1,828万円

砂利·火山灰など 630万円 街路灯の電気料 625万円

重機・車両経費 1,577万円 など

除排雪車輌の経費も含まれています

H20年度から繰り越した国の交付金を 活用し、今年度は15路線の簡易舗装と水 道管の布設替も併せて実施します



人道跨線橋改築

1,450 万円

(建設水道課 建設班

45-6981)

一般財源 1,450万円

JR上富良野駅の西側と東側を結ぶ人道橋は、昭和58年の建設から25年が経過し、階段部分の腐食など老朽化が著しいため、平成21年度に階段、22年度に通路部分の補修を行い、利用者の安全確保を図ります

H21 1,450万円 H22 2,550万円 計 4,000万円



防御事第

東町4丁目3番通り 改良舗装 4

4,297 万円

(建設水道課 建設班 45-6981)

国 3,860万円 一般財源 437万円

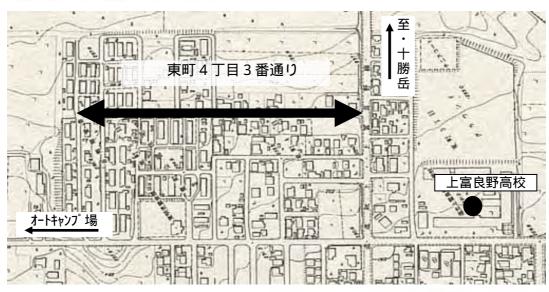
簡易舗装が施されているために冬期間の 凍結などで路面に段差ができるなど、人 車の通行に障害のある市街地の路線につ いて、路盤改良・舗装工事を進めます 平成21年度は東町4丁目3番通りの整備 を実施します

測量調査・実施設計 延長 = 350m 改良舗装工事 延長 = 200m

> H21 4,297万円 H22 2,550万円 計 6.847万円

「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を 活用した事業です





道路管理車輌の更新

2,600 万円

(建設水道課 建設班 45-6981)

国 2.100万円 一般財源 500万円

昭和62年度に購入、老朽化した道路維持 管理用の重機(ショベル)を、「特定防 衛施設周辺整備調整交付金」を活用して 更新します





道路側溝等整備

防衛事慧 1,004 ^{万円}

(建設水道課 建設班 45-6981)

国 900万円 一般財源 104万円

整備されていない、または壊れている道 路側溝や排水路を、コンクリートトラフ によって補修、整備します

平成21年度は防衛省の補助(特定防衛施 設周辺整備調整交付金)を活用して2地 区を整備します

- ・富原地区排水路整備工事 トラフ布設工事 延長=130m 【地図 】
- ・北18号道路側溝整備工事 トラフ布設工事 延長=110m 【地図 】



東5線道路の改良

1,400 万円

(建設水道課 建設班 45-6981)

			•
国	840万円	一般財源	120万円
借入金	440万円		

道幅が狭く未舗装で、車輌の通行に障害のある東5線道路の改良工事を平成3年度から進めています。平成22年度の舗装工事をもって完成する予定です(平成21年度)用地確定測量(石標埋設)改良工事 延長=64m、幅=5.5m 【地図】

北19号道路改良舗装

防御事誌 4,832 ^{万円}

(建設水道課 建設班 45-6981)

国 2,899万円 一般財源 1,933万円

自衛隊演習場へ繋がる路線であるため頻 繁に大型車輌が通行し、路面の損傷が著 しくなっています

この路線は一般車輌も多く通行するため、平成25年度までの予定で防衛補助を受け、路盤改良を実施します

今年度は実施設計などを行い、H22年度 から着工する予定です

【地図】

H214,832万円H22以降2億9,114万円計3億3,946万円



生活の不安を取り除く地域社会づくり

洪水八ザードマップの策定 603 万円

(総務課 総務班 45-6400)

国	180万円	一般財源	243万円		
北海道	180万円				

洪水災害に備え、浸水予想区域や避難方法などを示す地図(ハザードマップ)を 作成し、各家庭に配布します

法律(水防法)の規定に従い、国や北海道 の補助を受けて実施します

くらしの安全対策

937 万円

(町民生活課 生活環境班

45-6985)

一般財源 937万円

交通安全や防犯、青少年の健全育成など を推進する生活安全推進協議会への負 担、生活灯への補助などにより、生活安 全意識の普及、向上に取り組みます

・上富良野町生活安全

推進協議会負担 391万円

・生活灯電気料補助 439万円

・消費者問題対策 87万円

住宅耐震化補助 150 ^{万円}

(建設水道課 建設班 45-6981)

 国
 45万円 一般財源
 55万円

 北海道
 50万円

昭和56年以前に建てられた一般住宅などの耐震化改修を促進するため、1件あたり30万円を限度に補助を行います

防災アドバイザー事業

20 万円

(総務課 総務班

45-6400)

一般財源

20万円

町民対象の防災講演会の開催や、職員向けの防災対策図上訓練(実働を伴わないシミュレーション訓練)を行い、防災意識の向上に努めます



【広域連合事業】

2億4,386 万円

消防費

(総務課 総務班

45-6400)

一般財源 2億4,386万円

上富良野消防署と広域連合消防本部に係る人件費や装備費などの経費を負担しま
す

H21年度から消防組織がこれまでの「上川南部消防事務組合」から「富良野広域連合」に移行します 富良野沿線5市町村を統括する消防本部は上富良野町に置かれ、これまで「北署」として親しまれてきた消防署は「上富良野消防署」に名称がかわり

ました





防衛事惡

東1線排水路整備

9,589 万円

(建設水道課 建設班 45-6981)

国 9,589万円 一般財源

駐屯地及び流域内からの洪水被害の防止のため、排水路の改修工事を平成18年より実施し、平成22年度の完成に向け事業を進めています

【地図】

防御事第

北24号排水路支線整備

8,938 万円

(建設水道課 建設班 45-6981)

国 8,938万円 一般財源

演習場及び流域内からの洪水被害・土砂流出被害を防ぐため、排水路の整備やダムの設置など、平成17年度より整備事業を実施し、平成22年度の完成に向けて工事を進めています

ヌッカクシ富良野川 支流整備

防御事誌 1,263 ^{万円}

(建設水道課 建設班 45-6981)

国 1,263万円 一般財源

演習場内からのヌッカクシ富良野川への 土砂流入を防ぐため、平成21年度に砂防 施設を設置します

【地図】

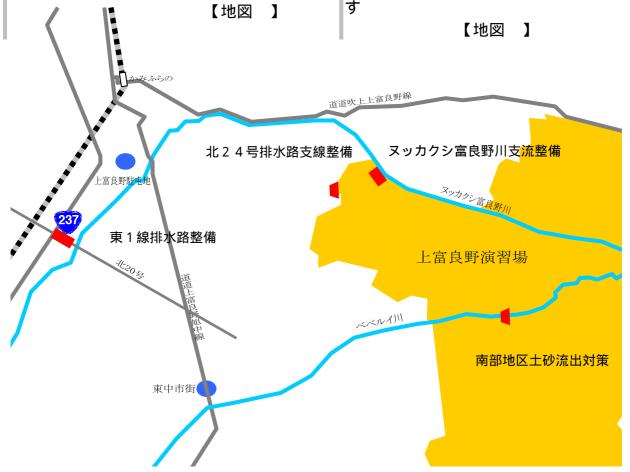
南部地区土砂流出対策

防衛事第 9,206 ^{万円}

(建設水道課 建設班 45-6981)

国 9,206万円 一般財源

演習場内を流れるベベルイ川の、魚など水生生物の生態系確保や、演習場からの土砂流入被害を防ぐため、魚道や砂防施設の整備を平成16年度から開始し、平成22年度の完成に向けて工事を進めています





快適で楽しく潤いのある暮らし

快適な日々の生活を送るには、それをかなえる身近な楽しさや便利さが必要で す。また、さまざまな町民活動が活発に行われ、それが生活の潤いへとつなげる ためには、明日への意欲や活力を見出す機会づくりが必要です。 心に張りがあり、快適で楽しく潤いのある暮らしの実現をめざします。

意欲と活力ある暮らしを導く心づくり・身体づくり

予防費(健康診査、検診など)

2,287 万円

(保健福祉課 健康推進班

45-6987)

北海道

69万円 受診料

215万円 その他

4万円 一般財源 2,000万円

予防接種費

伝染の恐れのある疾病予防や蔓延防止の ために予防接種を実施します

- ・乳幼児、学童、生徒の予防接種
- ・高齢者の肺炎球菌ワクチン接種
- ・高齢者のインフルエンザ予防接種 など

がん検診

日本人の死因の多くを占めるがんの、正 しい知識の普及活動や検診を行うことで 早期発見を促し、がん死亡の減少に向け て取り組みます

結核検診

結核の早期発見と蔓延防止のため、検診 を行います(対象:1,450人)



健康増進

(「健康かみふらの21」の推進) 健康指導や栄養指導、講習会の開催、健 診の実施などを通じて「健康かみふらの 21」を推進し、生活習慣病の予防に取 り組みます

生涯に潤いをもたらす学習環境づくり

文化の振興

115 万円

(教育振興課 社会教育班

45-5511)

一般財源

115万円

町民が芸術・文化に理解を深め、活動に 対する補助などを通じて町民主体の文化 振興を促します

- ・総合文化祭負担
- ·町民芸術劇場負担
- · 文化連盟補助
- ・自主企画芸術鑑賞補助 など



公民館、分館の運営

622 万円

(教育振興課 社会教育班

45-5511)

一般財源 622万円

・公民館分館の施設管理と、各種行事・ 講座など11分館における活動に対して補 助を行います

・施設管理費

510万円

・活動補助

111万円



快適で楽しく潤いのある暮らし

スポーツの振興

358 万円

(教育振興課 社会教育班

45-5511)

一般財源 358万円

町民の健康づくりとコミュニティの活性 化のため、スポーツ大会の開催や指導 者・関係団体の育成活動に対して補助な どを行います

・体育指導委員活動費

74万円

・大会開催など

284万円



社会教育 3,163 万円 総合センター管理費

(教育振興課 社会教育班 45-5511)

8万円 900万円 その他 212万円 一般財源 2,043万円 使用料

町民の健全なスポーツの普及とコミュニ ティ活動の育成を図り、健康の増進と生 活文化の向上に寄与するため、社会教育 総合センターを運営します

平成21年度は、防衛省の補助を受け、ボ イラーの更新を行います

・社教センター管理 (ボイラー改修)

2.086万円 1,077万円

防衛事業

大型東屋の整備 130 万円 (ゲートボール場)

(教育振興課 社会教育班

45-5511)

一般財源

130万円

町営ゲートボール場に大型の東屋(休憩 小屋)を設置し、利用する皆さんの利便 性を向上します

745 万円 図書館「ふれんど」運営費

(教育振興課 社会教育班

45-5511)

一般財源

745万円

情報の電子化が進み世代を問わず活字離 れが進んでいます。町ではさまざまな活 動を通じで町民が図書に親しめる環境づ くりを目指しています



818 万円 B&G海洋センター管理費

(教育振興課 社会教育班 45-5511)

使用料 15万円 一般財源 803万円

町民のスポーツレクリエーションの振興 を図るため、5月から10月までの間、B & G海洋センター(プール)の管理運営 を行います

パークゴルフ場管理費

413 万円

(教育振興課 社会教育班

45-5511)

413万円 一般財源

町民の健康増進とコミュニティの形成の 場としてパークゴルフ場(27ホール)を 運営します

管理運営は指定管理者が行います





快適で楽しく潤いのある暮らし

運動公園の管理 2,652 ^{万円}

(教育振興課 社会教育班

45-5511)

芝整備補助 1.845万円 一般財源

13万円 一般財源

794万円

町民の健康増進、スポーツ振興に利用されている富原運動公園 (野球場、テニス場、多目的広場など)を適切に管理します

・管理費

192万円

・芝生の張替え

2.460万円

平成21年度は多目的広場の芝生1万2千㎡を、日本スポーツ振興センターの支援(totoくじ助成)を受けて張り替えます。工事費は2,460万円、うち1,845万円が助成されます

張替え後は平成23年度から利用開始予定です

憩いと安らぎを提供する快適空間づくり

日の出公園の管理

3,320 万円

(建設水道課 建設班

45-6981)

一般財源 3,320万円

町の観光の拠点として、利用者の利便性 の向上や良好な景観の提供などの環境整 備、管理を行います

·管理委託(公園) 1,611万円

・ // (キャンプ場) 232万円

"(スキーリフト) 834万円

・休憩所、**ステーシ**゙等塗装 439万円

・ラベンダー補植 61万円

など



島津公園の整備

3,500 万円

(建設水道課 建設班

45-6981)

一般財源 3,500万円



町民誰もが気軽に訪れ、利用できる公園 づくりを目指し、整備を進めます。平成 21年度は池に大量に溜まった泥を取り 除く作業を行い、景観と水質の改善に取り り組みます

この事業は、平成20年度に国から交付された「地域活性化・生活対策臨時交付金(3,000万円)」により実施されます

楽しく便利な地域生活の実現

電算化の推進

1,095 万円

(総務課 総務班

45-6400)

一般財源 1,095万円

財務会計システム(予算編成や支出に関するシステム)のコンピュータ機器の更新や、耐用年数を経過した業務用サーバの更新など、電算業務体制の維持管理を行います

住民基本台帳 ネットワークシステムの改修

500 万円

(町民生活課 総合窓口班

45-6985)

一般財源 500万円

住民基本台帳ネットワークシステムの機器が導入され7年が経過し、耐用年数を迎えていることからコンピュータサーバなどを更新します



上富良野には、人、モノ、恵まれた自然や景観をはじめ、培われてきた歴史、 伝統、知恵など、さまざまな地域の宝があります。そしてそれぞれの宝が持って いる個性や特性に応じて守り、継承し、育み、日々の生活や活動に生かしていく ことができる暮らしの実現をめざします。

いきがいある生活と社会参加を支える福祉環境づくり

高齢者事業団運営補助 444 ^{万円}

(保健福祉課 福祉対策班 45-6987)

一般財源 444万円

高齢者の経験、能力を活かした労働環境を整え、勤労意欲を高めるため、高齢者事業団の運営費に対して補助を行います(平成21年度は事業団設立20周年記念事業費として20万円を補助しています)

老人クラブ運営補助 118 万円

(保健福祉課 福祉対策班 45-6987)

北海道 58万円 一般財源 60万円

老人クラブの活動を通じで高齢者の生き がいや健康づくりなどを推進します

・単位老人クラブ(31クラブ)補助 77万円

・老人クラブ連合会補助 41万円

いしずえ大学の運営 233 ^{万円}

(教育振興課 社会教育班 45-5511)

一般財源 233万円

「いしずえ大学」では、高齢者のまなびの場としてクラブ活動や研修など、さまざまな事業を実施します

精神障害者 109 万円 通所授産施設整備

(保健福祉課 福祉対策班 45-6987)

一般財源 109万円

富良野広域における精神障害者の社会復帰を促進するため、富良野市に整備した 通所授産施設の建設費の一部などを負担 します

たくましく、心豊かな人間を育む成長・学習環境づくり

放課後子どもプラン

1,284 万円

(教育振興課 社会教育班 45-5511)

経験豊かな指導員がさまざまな遊びやふれあい活動の場を設けることで、放課後における 子ども達の安全な居場所づくりと心身の健全 な発達を促します

指導員 20人 平成20年度の実績

- ・延べ利用児童数 3万5千人
- ・放課後スクール・クラブ登録児童数

上小 151名 西小 80名 江幌小 18名 北海道 864万円 一般財源 369万円 利用料 51万円



平成20年度に文部科学省の「第1回放課後子ど も教室推進表彰」を北海道で唯一受賞しました。



児童館の運営

930 万円

930万円

(保健福祉課 子育て支援班

45-6987)

一般財源

東西2か所の児童館を運営し、児童に健全な遊び場を提供することで健康を増進し、情操豊かな成長を促します



小中学校の管理・運営 7,213 ^{万円}

(教育振興課 学校教育班 45-6699)

国	289万円	その他	57万円		
使用料	53万円	一般財源	6,815万円		

小中学校施設の適正な維持管理を進めま す

> ・小学校 4 校 4,406万円 ・中学校 2 校 2.807万円

小中学校の整備・補修 392 ^{万円}

(教育振興課 学校教育班 45-6699)

一般財源 392万円

小中学校の校舎整備や備品の整備などを 随時行い、適正な教育環境を整えます

【上小】 机・イス 110万円

軒天補修 120万円

【上中】 机・イス 132万円

駐輪場整備 30万円

上富良野高等学校振興対策 204 ^{万円}

(教育振興課 学校教育班

45-6699)

一般財源 204万円

教育振興会における振興事業(入学準備金補助、資格取得補助等)に対して補助を行い、上富良野高校の間口の維持と振興に取り組みます

特別支援教育

392 万円

(教育振興課 学校教育班

45-6699)

一般財源 392万円

障害のある児童生徒の自立や社会参加に向け、一人一人に適合した教育を実践することで、生活や学習上の困難を改善できるよう、支援を行います

小中学校の学習活動

1,792 万円

(教育振興課 学校教育班 45-6699) 国 67万円 一般財源 1,725万円 学習用資材・教材の整備など、児童生徒 の学習環境を整えます

・小学校4校

1,048万円

・中学校2校

744万円

教育用コンピュータ整備 614 ^{万円}

(教育振興課 学校教育班 45-6699)

国 340万円 一般財源 274万円

国による小中学校のコンピュータ教育推進方針に基づき、本年度は東中中学校に25台のコンピュータや教育機器を整備します

「特定防衛施設周辺整備調整交付金」 を活用した事業です



防衛事業

東中中学校(講堂) 1,336 ^{万円} 暖房機更新

(教育振興課 学校教育班 45-6699) 国 834万円 一般財源 502万円

講堂(体育館)の温風暖房機を、防衛省 の補助金を活用して更新します

児童・生徒就学助成 1,135 ^{万円}

(教育振興課 学校教育班 45-6699)

国 64万円 - 般財源 1,071万円 経済的な理由で小中学校の児童生徒の教育環境に影響を及ぼさないよう、就学に 必要な費用に対して援助を行います

私立幼稚園就園奨励 1,725 万円

(教育振興課 学校教育班 45-6699)

国 431万円 一般財源 1,294万円

幼稚園教育の普及と充実のため、幼稚園 児の保護者が負担する保育料の一部を補 助します

・対象園児145人(保護者の収入などの補助要件を満たしていることが必要です)

【広域連合事業】 学校給食センターの運営 4,380 万円

(教育振興課 学校教育班 45-6699)

一般財源 4,380万円

安全で質の高い学校給食を提供するとと もに、町の食育推進計画に基づいた指導 を進めます

平成21年度より上富良野町学校給食センターは「富良野広域連合」が事業を実施します



小中学校耐震診断 1,794 ^{万円}

(教育振興課 学校教育班 45-6699) 国 762万円 一般財源 1,032万円

老朽化が進む校舎などの耐震度診断を行います

・上小校舎 750万円・西小体育館 187万円・上中校舎 857万円



私立幼稚園特別活動 250 万円 振興補助

(教育振興課 学校教育班 45-6699)

一般財源 250万円

私立幼稚園(高田幼稚園)の特別活動 (延長保育や職員研修など)に対して補 助を行います

小中学校学習指導要領 改正に伴う教材 271 ^{万円}

(教育振興課 学校教育班 45-6699)

国 67万円 一般財源 204万円 平成21年4月より小中学校で新学習指導 要領の一部が施行されることから、それ に対応した教材や備品の整備などを行い

・上小 112万円
・西小 65万円
・東中小 38万円
・江幌小 36万円
・上中 19万円
・東中中 2万円

ます



担い手が輝き、地域の強みを生かす産業づくり

185 万円 農業担い手対策

(産業振興課 農業振興班、農業委員会 45-6984) 農業を支える担い手を育成・確保するため、 新規に就業する農業後継者に「担い手サポー ト奨励金」を交付します

また、アグリパートナー協議会等が実施する パートナー募集事業(花嫁対策事業)に対し て補助を行います

-般財源 185万円

・担い手姉。ト奨励金 96万円

10万円 · 新規就農奨励

・アグリパートナー協議会 79万円

商工業担い手対策

48 万円

(産業振興課 商工観光班 45-6983)

> 一般財源 48万円

商工業を支える担い手を育成・確保する ため、新規に就業する商工業の後継者に 「担い手サポート奨励金」を交付します

広域観光の推進

140 万円

(産業振興課 商工観光班

45-6983)

一般財源 140万円

観光客誘致などの広域的な観光事業を展 開するため組織されている「富良野・美瑛 広域観光推進協議会」に対し経費を負担 します

観光諸行事負担

655 万円

(産業振興課 商工観光班

45-6983)

-般財源 655万円



商工振興と観光客誘致を目指す「四季彩イベ ント」に係る経費の一部を、各イベントの運 営委員会に対して負担します

560万円 花と炎の四季彩まつり かみふらの雪まつり 60万円 35万円 北の大文字

風土に調和した社会基盤・活動基盤づくり

吹上温泉地区の振興

2,069 万円

(産業振興課 商工観光班 45-6983) 吹上地区の振興・保全を図るための整備費 用や泉源に係る経費です。平成21年度 は吹上温泉保養センター(白銀荘)の運 営委託費や、十勝岳地区振興基金を活用 して開業から12年が経過して損耗が進む 白銀荘の改修事業を実施します

> ・吹上地区の整備保全 277万円

> ・白銀荘運営費 552万円

> ・白銀荘改修費 1,240万円

1,240万円 一般財源 829万円



基金



町営住宅管理 1,650 ^{万円}

(町民生活課 生活環境班 45-6985)

一般財源 1,650万円

住宅に困窮している町民へ良好な住環境 を提供するため、442戸(H21年4月現 在)の町営住宅の維持管理を適切に行い ます

・維持修繕料	590万円
・火災保険料	60万円
・除雪委託	80万円
・環境整備など	163万円

₹**06** € 0 0 0

火災警報器の設置(497万円) 消防法の改正を受け、すべての町 営住宅の主寝室などに住宅用火災 警報器を設置します

通路の補修工事(130万円) 凍結による損傷が激しい西町団地 の通路を補修します

木製ドアの取替(130万円) 損傷の激しい木製玄関ドアを順次 アルミ製のものに交換します

H20年度から繰り越した国の交付金を 活用し、今年度は扇町・西町団地の屋根 塗装も併せて実施します

町営住宅建設	2億6,544 万円
--------	------------

(町民生活課 生活環境班 45-6985)

玉	1億1,942万円
借入金	9,900万円
一般財源	4,702万円

現在、建替え工事が進められている富町団地(富町2丁目)の8号棟(15戸)の建設、来年度建設予定の9号棟の設計を行います

富町団地は平成22年度までに建替えを完 了する予定です

・8号棟建設費 2億5,726万円・9号棟設計費 818万円



まちの記憶が受け継がれ、新たな知恵が芽吹くまちづくり

郷土館の管理 77 万円

(教育振興課 社会教育班 45-5511)

一般財源 77万円

郷土文化や歴史に対する町民の理解を深めるため、郷土館を運営していますまた、町の文化財を次の世代に引き継ぐため、適正な保存・保護を行います



開拓記念館の管理 139 ^{万円}

(教育振興課 社会教育班 45-5511)

一般財源 139万円

開拓や十勝岳噴火被害からの復興など、 上富良野町の歴史に対して町民が理解を 深め、後世に残すため開拓記念館におい てさまざまな資料を展示、保存していま す

H21年度は外壁塗装(65万円)を実施します



誇りと責任・役割を分かちあえる暮らし

このまちに住む人、このまちで働く人、このまちを訪れる人、上富良野とつな がりを持つすべての人が、自らの誇りにより、まちの良さや暮らしやすさを守 り、さらに発展させるため、そこに生じる責任を果たすとともにそれぞれの役割 を担っていくことができる暮らしの実現をめざします。

かみん (保健福祉総合センター)の運営

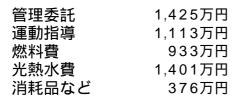
5,335 万円

(保健福祉課 福祉対策班

45-6987)

使用料等 938万円 一般財源 4,309万円

保健福祉総合センター「かみん」では、「役場保健福祉課」、「地域包括支援センター」、「社会福祉協 議会」の他、社会福祉法人富良野あさひ郷の運営によ る「デイサービスセンター」や社団法人北海道総合在 宅ケア事業団の運営による「訪問看護ステーション」 が開設されています





180 万円 ボランティアの町づくり

(保健福祉課 福祉対策班 45-6987)

一般財源 180万円

住民が身近なところで気軽にボランティ ア活動に取り組める環境づくりを進める ため、ボランティアコーディネーターを 配置して、ボランティアの町づくりを推 進します



自衛隊基地対策

520 万円

(総務課 基地調整室 45-6980)

43万円 一般財源 477万円

自衛隊基地周辺の整備事業計画の調整 や、自衛官募集事務、関係団体との連携 など、陸上自衛隊上富良野駐屯地との間 の様々な事柄について、総合的な調整を 行います

また、上富良野駐屯地の現状維持に向け た活動や、関係協力団体への補助を行い ます



26 万円 協働のまちづくりの推進

(保健福祉課 福祉対策班 45-6987)

一般財源 26万円

上富良野町自治基本条例に基づいた協働 のまちづくりを推進するため、講演会の 開催や推進組織づくりの準備を行います





その他 行政運営経費など

富良野広域連合(総務費用)

1,556 万円

(総務課 総務班 45-6400)

事務所使用料(消防) 189万円 一般財源 1,367万円

平成21年4月より、上富良野町・中富良 野町・富良野市・南富良野町・占冠村の 5市町村による富良野広域連合の事業が スタートしました

右の4事業の実施に必要な経費負担のほか、議会費などの総務的な経費も各市町村で負担します

・総務費用	1,556万円
・衛生センター(10ページ)	8,434万円
・串内牧場 (8ページ)	1,324万円
・消 防(13ページ)	2億4,386万円
・給食センター(20ページ)	4,380万円
合 計	4億129万円

議会運営費

5,188 万円

(議会事務局

45-6992)

一般財源 5,188万円

町議会議員14名の報酬や議会だよりの発行、会議録の作成など、町議会を円滑に 運営するための経費です



補償金免除繰上償還

7,820 万円

(総務課 企画財政班 45-6980)

基金 7,820万円 一般財源

国などから借り入れた町債(借金)のうち、5%以上の高金利のものについて繰上償還が認められました(平成19~21年度の特例)

町ではこの特例を活用し、3年間で総額約13億4千万円を繰上償還することで3億8千万円の利子負担の軽減が見込まれます

(平成21年度)

·一般会計 2,756万円

・下水会計 4億1,599万円

(うち一般会計からの繰出 5,064万円)

・水道会計 1億7,467万円

緊急雇用創出対策

627 万円

(産業振興課 商工観光班 45-6983) 北海道 627万円 一般財源 -

企業の大規模なリストラなど雇用情勢の 悪化に伴い、国では「緊急雇用創出事業 臨時交付金」を創設しました

町ではこれを受け、次の4事業の実施により雇用の確保に努めます

ゴミ分別指導

83万円

ゴミ集積場の巡回指導など

町広報誌データ化

59万円

四和33~平成13年の町広報誌のデータ化作業

翁公園整備

237万円

園地・遊歩道の刈り払い、整地など

学校図書室図書データ化

248万円

学校図書約2万1千冊のデータ化作業

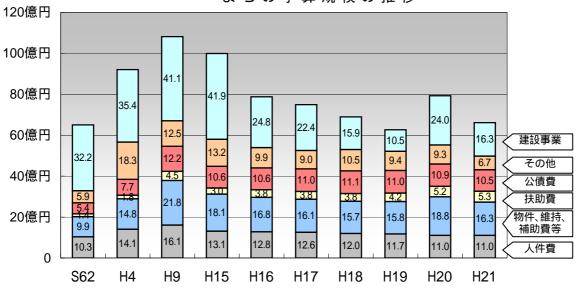


資 料 編

1.まちの予算

町の予算規模は平成21年度当初予算で66.1億円。開基百年事業などにより予算規 模が過去最大となった平成9年度の決算額108.2億円と比べると42億円(約39%) の減額となっています。





H19までの数値は決算額、H20は決算見込額、H21は当初予算額となっています。

66.1億円はおおむね昭和62年度の決算額65億円と同規模ですが、費用の構成 は大きく変化しています。これらがどうのようなことを示すのか、家庭の収支に 置き換えてみましょう。

即さんちの家計算

上富太郎さんのお宅では、昭和62年 ごろから平成10年ごろまでは、お父さん の給料も順調に上がり、住宅の新築や新 車の購入、家族旅行で充実した余暇を過 ごすなどしてきましたが、ここ10年はお 父さんの会社も経営状況が思わしくな く、給料がカットされ、家計のやりくり が厳しくなっています。

太郎さんは家族会議を開き、家族全員 で節約を心がけることに決め、食費や電 気代、水道代を減らす工夫をしていま す。

また、住宅や車は長く使うことで購入

費用を抑えています。 しかし、高齢になったおじいちゃん、 おばあちゃんの病院代が増え、住宅ロー ンや子ども達への仕送りなど、減らすこ とが難しい支出が多いのも現実です。

また、住宅や車の購入費を抑える反 面、古くなりメンテナンス費用が増えて きています。

ローンの返済については、買い物を減 らし、繰上償還するなどしてこれから少 しずつ楽になっていく見通しですが、家 計をあずかるお母さんの不安は尽きませ h_{\circ}



町では、昭和62年ごろから平成10年 ごろまでは、税収や交付税が順調に伸 び、施設の建設や道路の整備、地域振興 などの充実を図ってきましたが、ここ10 年は経済の停滞を受け、税収が落ち込 み、国の補助金や交付税が減らされるな ど町財政の運営が厳しくなっています。

町では行財政改革の計画を定め、町民



皆さんの協力のもと、人件費や経常的な 経費の削減に取り組んでいます。 また、建設事業を抑制し、施設や道路 などはできる限りの延命を図っていま



。 しかし、高齢化の進行と共に医療費負 担などの扶助費が増加し、公債費(借金 返済)や他会計への繰出しなど、削減す ることが困難な支出も多くあります。



また、建設事業を抑制する反面、老朽 化した施設の修繕費用や委託費用が増加 しています。



公債費については新たな起債(借金) を抑制し、繰上償還するなどしてこれか ら少しずつ減少していく見通しですが、 町財政は不安定な状態が続いています。



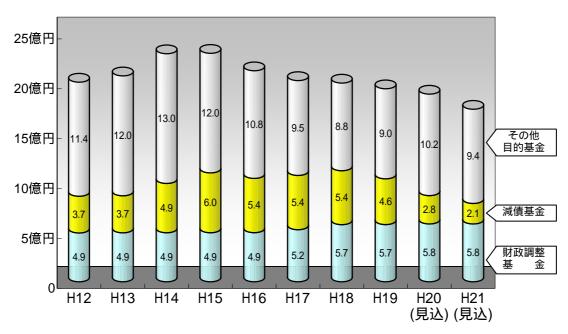
資料編

2.まちの貯金(基金)

町では、さまざまな支出に対応するため、それぞれの目的に応じて貯金(基金)を しています。

基金には、年度間の財源を調整する『財政調整基金』、『減債基金』のほか、農業振興、教育振興などに使用される特定目的基金があります。

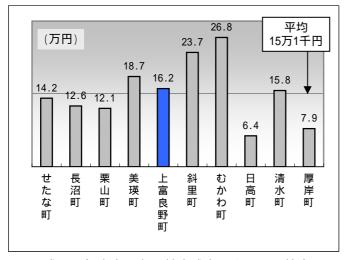
基金残高の推移



一般会計。数値は各年度末現在のものです。

町の基金の総額は、平成20年度末現在で18億8,061万円となっており、 ピーク時(H15)と比較して約4億9百万円減少していますが、これは平成19~ 21年度にかけて行われる町債(借金)の繰上償還の財源として減債基金から約3 億円を取り崩すことが大きな要因です。

類似団体との比較 (住民一人あたり基金残高)



平成18年度末現在の基金残高、人口から算出しています

【ことば】類似団体

『類似団体』とは、人口規模や産業構造が似た市町村ごとに分類したもので、財政状況の比較などに用いられます。

上富良野町が属するのは、人口1万~1万5千人で第2次産業、第3次産業に占める人口が80%未満の町村の分類で、全国で55町村、北海道内では上富良野町をはじめ10町村がこの区分に該当します。

【類似10町村】

上富良野町、美瑛町、せたな町、 長沼町、栗山町、斜里町、むかわ 町、日高町、清水町、厚岸町

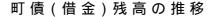


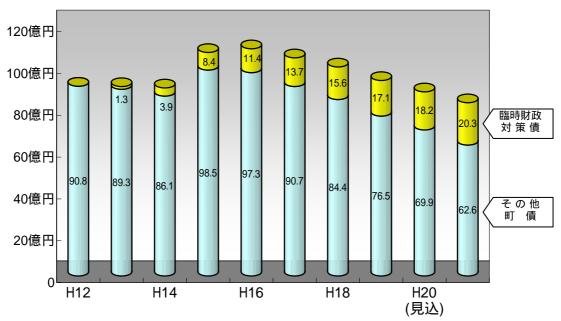
資料編

3.まちの借金(町債)

道路や橋梁、学校や会館など、公共施設の整備には多額の費用がかかることから、 町では地方債(町の借金)を発行して事業の費用にあてています。

町の借金であるため少なければ少ないほど健全といえますが、地方行政の運営には欠かせない財源ともなっていますので、地方債の残高や償還額が町の財政規模とバランスがとれるよう、適切に管理していかなければなりません。

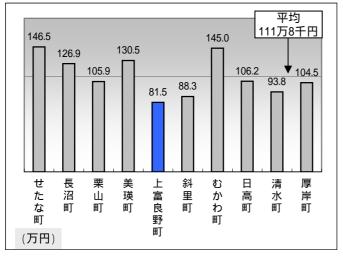




一般会計。数値は各年度末現在のものです。

町の一般会計の地方債(借金)残高は、平成20年度末現在で88億935万円となっており、ピークであった平成16年度と比較して20億6千万円減少しています。これは行財政改革の取り組みによる地方債発行の抑制と、金利の高い地方債の繰上償還による減少が大きな要因となっており、残高・償還額いずれにおいても今後さらに減少が見込まれます。

類似団体との比較 (住民一人あたり町債残高)



平成18年度末現在の地方債残高、人口から算出しています

【ことば】 臨時財政対策債

平成13年度から、それまで国の 特別会計が借金をして交付していた 地方交付税の一部を、地方(町)が 直接借金して財源を確保すること なりました。この借金を臨時財政対 策債と呼び、償還する元金利子全額 が後の年度において普通交付税に算 されることとなっています。



4.財政指標

自治体はそれぞれ地域の特色をもって財政運営をしているため、その健全度は人口 規模や予算規模で計ることは困難です。

そのため、支出している経費や収入の内容などを分析して、自治体の健全度を全国 -律の基準で示すものが「財政指標」または「健全化指標」と呼ばれるものです。

財政指標には主に、実質赤字比率、経常収支比率、実質公債費比率などがあり、数 値によって早急な健全化を要する団体、再建計画による健全化が必要な団体などに分 類されます

早期健全化団体 15%以上 連結実質赤字比率 上富良野町は・・・・%(赤字なし) 財政再生団体 町全体(すべての会計)の赤字割合を示し、一定の率を超えると健全化団体や再生 団体に指定されます。上富良野町においては黒字であるため該当となりません。

実質公債費比率 上富良野町は・・・21.4%

早期健全化団体 25%以上 財政再生団体 35%以上

公債費(借金の返済)支出が町の一般財源などに占める割合を示し、25%を超え ると「早期健全化団体」に指定されるなど健全度の判断指標とされます。 上富良野町は平成19年度の21.4%がピークとなり、今後は繰上償還(前ページ「地方

債」参照)の効果も重なって大幅な減少に転じる見込みです。

将来負担比率 上富良野町は・・・135.7%

早期健全化団体 350%以上

町の財政規模に対して、借金の返済や職員の退職金など、将来における支出が明ら かな経費がどれくらいあるかを示す率です。

この数値が350%を超えた場合、早期健全化団体となります。

経常収支比率 上富良野町は・・・90.6%

財政構造の弾力性を判断する比率です。人件費や扶助費、公債費(借金の返済)な どの経常的な支出が、町税や地方交付税などの経常的な収入に占める割合を示しま す。一般的にこうした硬直性の高い支出が少ないほど健全であり、町においては 80%以下であることが望ましいとされていますが、地方交付税の減額などにより平 成20年度においては90%を超えています。

類似団体との比較

下の表のとおり、平成19年度においては類似団体すべての指標が健全化基準を下 回っています。上富良野町の財政指標も類似団体中で中間程度を維持していますが、 今後もより一層柔軟かつ健全な財政運営を心がけていかなければなりません。

町村名	実質赤字		実質公債		将 来		経常収支
-1111	比率	順位	費比率	順位	負担比率	順位	比率 H18
上富良野町	-	7	21.4%	2	135.7%	6	91.2%
せたな町	ı	10	23.0%	4	148.7%	7	91.9%
長沼町	-	5	20.8%	10	201.0%	4	88.5%
栗山町	1	8	21.9%	7	174.0%	9	94.0%
美瑛町	1	4	19.8%	6	155.5%	2	85.1%
斜里町	1	1	14.2%	1	128.0%	1	83.8%
むかわ町	-	2	15.9%	5	153.0%	3	88.3%
日高町	1	6	21.2%	3	146.9%	10	95.6%
清水町	ı	9	22.0%	8	175.8%	8	92.9%
厚岸町	1	3	16.4%	9	184.0%	5	89.9%

各数値は平成19年度、ただし経常収支比率は平成18年度決算を元に公表されているものです

語 説

このページでは冊子の中に記載のあった言葉のうち、あまりなじみのない行政用語や財政用語など について説明しています

あ 一般会計 (いっぱんかいけい) 行

町を運営するための基本的な経費を計上した 会計で、町税などが主な財源です 町の予算の中心となるものです

・般財源 (いっぱんざいげん)

町税や地方交付税など、使途に制限のない収 入を指します

(ききん)

「財政調整基金」などのように、急激な税の 落ち込みなど突発的な資金需要に対応する資金 のほか、特定の目的を達成するために積み立て や運用を行う資金(特定目的基金)を指します (詳しくは資料編「まちの貯金(基金)」をご 覧ください

繰入金 (くりいれきん)

町の他の会計から受け入れる資金や、基金 (貯金)を取り崩した資金を指します

繰出金 (くりだしきん)

主として、他の会計の事業に要する経費や借 金の償還金の一部を負担する経費を指します。 国から負担する経費の基準を定められた繰出し や、収支不足を補うための繰出しがあります

決算統計 (けっさんとうけい)

地方自治体の決算の状況を、全国一律のルー ルに基づいて集計したものです。他の自治体と のお金の使い方の違いを比べられる唯一のデー タとして、財政状況の分析などさまざまな分野 に使用されます

建設事業費 (けんせつじぎょうひ)

道路、橋、学校の建設など、社会資本の形成 を伴う支出で、工事費や負担金により支出され ≢ す

国勢調査 (こくせいちょうさ) 5年に1度、全国的に実施する人口や生活実 態などの戸別訪問による一斉調査で、普通交付 税の算定などさまざまな場面で人口の基礎数値 として使用されます。上富良野町の直近の人口 (H17調査)は12,352人です

国庫支出金 (こっこししゅつきん)

国から町に対して支出される負担金、補助 金、委託金、交付金です

指定管理者制度 (していかんりしゃせいど)

主に施設の管理運営を、民間企業(指定管理 者)の知識と経験を活かして効果的・効率的に 行うための制度です

た 地方交付税 (ちほうこうふぜい)

普通交付税

所得税や法人税、消費税などの一定割合を財源 として国から町などの地方自治体に交付する制 度で、税収入の少ない地方にとっては自治体の 運営を左右する重要な財源となっています 使途は定められておらず、町の裁量で事業など に充てられる「一般財源」として交付されます 特別交付税

人口や面積など、標準的なルールに基づいて交 付される普通交付税に対して、自治体ごとの特 殊事情に応じて交付されるのが特別交付税であ り、普通交付税の補完的役割を果たします

町價・地方價 (ちょうさい・ちほうさい)

町が国や民間金融機関などから長期的に借り入 れる資金のことです。これらは主として道路や 学校、ごみ処理施設、公園など社会資本の整備 にあてられます

町税 (ちょうぜい)

町に属する税金で、個人町民税、法人町民税、 固定資産税(土地、家屋、償却資産)、町たば こ税、軽自動車税、入湯税があります

道支出金 (どうししゅつきん)

北海道から町に対して支出される負担金、補助 金、委託金、交付金です

特定財源 (とくていざいげん)

使途の自由な一般財源に対して、使途が特定 (制限)された収入を特定財源といい、国や北 海道からの補助金や使用料、負担金など、ある 事業の実施のために収入されたものを指します

特別会計 (とくべつかいけい) は

行

国民健康保険のように、特定の人たちがお互い に助け合うことを目的とした事業や、公共下水 道事業のように限られた人たちが利益を受ける 事業は、利益を受ける人たちが負担するお金を 中心に運営しています

それぞれに経理を明確にする必要があるため、 一般会計と区別して、特別会計として経理して います

上富良野町には、一般会計と同様の会計処理を 行う国保・老人保健・後期高齢・介護保険・ラ ベンダーハイツ・簡易水道・下水道の7会計 (特別会計)と、民間企業と同様の会計処理を 行う病院・上水道の2会計(企業会計)があり

物件費 (ぶっけんひ)

事務用物品の購入のほか、光熱水費、臨時職員 の賃金、旅費、業務委託費など、主として消費 的な性格の支出を指します

扶助費 (ふじょひ)

児童手当などの法律に基づく支給や、町が単独 で行う生活支援など、住民の生活保障にあてる 経費です

分担金 (ぶんたんきん)

事業の実施によって利益を受ける人や企業が、 その事業費の一部を「分担金」として負担する 場合があります



平成21年度 当初予算説明書

上富良野町 知っておきたい今年のしごと

発 行 年 月編集・発行住所・連絡先

平成21年4月

上富良野町 総務課 企画財政班

北海道空知郡上富良野町大町2丁目2番11号

電話 0167-45-6980 FAX 0167-45-5362

E-Mail kikakuzai@town.kamifurano.lg.jp

ホームページ http://hp.town.kamifurano.hokkaido.jp/

この冊子はPDFデータでもご覧いただけます。上記ホームページよりダウンロードしてご利用ください。